

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	形態機能学 I (生体を支配・統合・調節する器官) 2単位 45時間		
開講時期	1年次 前期		
担当教員	フラピエかおり・鈴木康弘・小倉跡夢・宮下由紀恵 岩崎一憲・腎臓内科医師	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>病気で苦しむ人たちを救う医療行為には、人体へのさまざまな介入が含まれる。人体の構造と機能についての正確な理解がなければ、その医療行為そのものが害悪をもたらすことになりかねない。解剖と生理学についての十分な理解なしでは現代の医療はなりたたない。よって、到達目標は、正常な身体の形態と働きについて基礎的な知識を習得し、器官相互のつながりや身体全体の調和がどのように維持されているかを理解することとする。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 解剖生理を学ぶための基礎知識 1) 人体とはどのようなものか 2) 人体の素材としての細胞・遺伝	講義・小テスト(フラピエ)	
2回目	3) 人体の素材としての細胞・組織 4) 構造からみた人体 (体温とその調節を含む)	講義・小テスト(フラピエ)	
3回目	1. 情報の受容と処理 (神経系) 1) 神経系の構造と機能	講義 (鈴木) 神経内科医師	
4回目	2) 手指神経	講義 (鈴木)	
5回目	3) 脳神経	講義 (鈴木)	
6回目	4) 伝導路	講義 (鈴木)	
7回目	1. 身体の支持と運動 (骨・筋系) 1) 骨格・関節とはどのようなものか	講義 (小倉) 整形外科医師	
8回目	2) 体幹の骨格と筋 3) 頭頸部の骨格と筋	講義 (小倉)	
9回目	4) 上肢の骨格と筋	講義 (小倉)	
10回目	5) 下肢の骨格と筋	講義 (小倉)	
11回目	1. 尿の生成 (泌尿器系) 1) 排尿器 2) 尿の生成	講義 (宮下) 泌尿器科医師	
12回目	3) 男性生殖器	講義 (宮下)	
13回目	1. 生殖・発生のしくみ (生殖系) 1) 女性生殖器 (生理周期・ホルモン)	講義 (鈴木) 産婦人科医師	
14回目	2) 受精と胎児の発生 (細胞分裂・染色体)	講義 (鈴木)	
15回目	3) 受精と胎児の発生 (胚の分化など)	講義 (鈴木)	
16回目	1. 自律神経による調整 2. 内分泌系による調節	講義・小テスト(フラピエ)	
17回目	1. 全身の内分泌腺と内分泌細胞	講義・小テスト(フラピエ)	
18回目	1. ホルモン分泌調節	講義・小テスト(フラピエ)	
19回目	1. 体液の調節と尿の生成 (腎臓系) 1) 腎臓の構造と機能	講義 (山田) 腎臓内科医師	
20回目	2) 腎生理	講義 (山田)	

21 回目	3) 電解質と酸塩基	講義 (山田)
22 回目	1. 血液のはたらき	講義 (フラピエ)
23 回目	1. 生体の防御機構	講義 (フラピエ)
評価方法	終了試験 (筆記 200%) : フラピエ (75%) 鈴木 (30%) 小倉 (30%) 宮下 (15%) 鈴木 (25%) 山田 (25%)	
受講生に 対する メッセージ	<p>2 単位 45 時間の科目である。30 時間終了時と 15 時間終了時に試験を実施します。その合計点数をもって単位認定の判断をいたします。学習期間は、長く複数の講師によるオムニバス形式の講義体系となります。よって、各講師の講義内容を理解することが求められます。事前事後学習を行って十分な理解ができるよう取り組んでほしいです。</p> <p>尚、講師の都合により、講義順番が多少ずれることがあります。掲載の回数目とはずれることがありますので、ご了承ください。</p> <p>フラピエ先生からのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学生としての品格を維持し授業に臨んでください。服装、髪の色等授業に適さない学生は授業参加を遠慮していただく場合があります。ご了承ください。 ・指定のテキストを忘れた場合、講義は受講できませんのでご了承ください。 ・各自学習をして授業に臨んでください。 ・授業時毎回小テストを実施します。30 点以上で合格となり、以下の場合は再テストを 1 回のみ実施します。毎回の小テストが合格しなければ終了試験の受験資格が得られませんのでご注意ください。 	
テキスト	系統別看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学 医学書院 フラピエかおり著 看護学生のための重要疾患ドリル 2020 メジカルフレンド社	
参考書	松田 純著 「安楽死・尊厳死の現代-最終段階の医療と自己決定」 中公新書	